

報道関係者 各位

新潟県におけるオセルタミビル(商品名:タミフル)耐性を示す
遺伝子変異が検出された新型インフルエンザウイルスについて

新潟県から、タミフル耐性を示すH275Yの遺伝子変異を持つ新型インフルエンザウイルスの分離が確認されたとの報告がありましたので、その概要について、別紙のとおり、情報提供します。

**「タミフル」に耐性を示す遺伝子変異を有する新型インフルエンザ
ウイルスが同じ病室に入院していた2名の患者から確認されました**

新潟県内の新型インフルエンザ患者から、オセルタミビル(商品名:タミフル)耐性を示す遺伝子変異を有するウイルスが確認されましたので、お知らせします。

なお、今回の公表については、病院の同じ病室に入院していた2名の患者から、当該ウイルスが確認されたため、公表を行うものです。

1 患者の概要

○患者A (10歳未満 女児)

- ・基礎疾患のため県内の病院に長期入院中
- ・10月9日に発症(熱39度)、
- ・10月10日からタミフル投与
- ・10月14日に検体採取
- ・10月15日、遺伝子検査により、新型インフルエンザの感染を確認
- ・10月中旬に軽快

○患者B (10歳未満 男児)

- ・基礎疾患のため患者Aと同じ病室に長期入院中
- ・10月10日からタミフルの予防投与
- ・10月13日に発症(熱39度)
- ・10月14日に検体採取
- ・10月15日、遺伝子検査により、新型インフルエンザの感染を確認
- ・10月下旬に軽快

なお、この2人以外に同室の患者はおらず、感染の拡大は確認されていない。

※患者等の個人情報には、特段のご配慮をお願いします。

2 その他

○タミフルに対する耐性を持つ遺伝子変異は、ウイルスの重篤度(病原性)には直接影響を及ぼすものではないとされる。(厚生労働省)

○タミフル耐性を持つ遺伝子の変異は、必ずしもタミフルが臨床的に有効でな

いことを示すものではありません。また、この事例において、当該のウイルスの人から人への感染が確実に起きたということが把握されたわけではありません。

今後、詳細な試験を国立感染症研究所において実施する予定です。

○検査機関：新潟県保健環境科学研究所

保健環境科学研究所への取材は、御遠慮願います。

本件についてのお問い合わせ
福祉保健部健康対策課
長沢補佐（直通）025-280-5196